

Art Gallery

舌 春子 押絵作品展

押絵の歴史は室町時代、
京都御所の女官達が詩歌を詠むことと同様のたしなみとして、
着物の残り裂で几張や小箱などを作ったのが始まりと云われています。
やがて江戸時代に入ると大奥の女中達に伝わり、
大名の奥方へ、そして町人達へと広がっていきました。
江戸の中頃には、歌舞伎役者の羽子板が職人達の手で作られ
現代まで続いています。
「押絵」とは昔は「貼る」ということを「押す」と表現し、
絵を貼るといわず、絵を押すということから押絵と云われています。
今でも金箔、銀箔は「貼る」のではなく「押す」といいます。
次第に綿などを入れて立体的になってきました。
今回の私の押絵作品は、浮世絵の北斎、歌麿
鈴木春信と上村松園の美人画の世界を、
私なりの解釈で背景に和紙の風合いを生かして仕上げました。
日本の古布の味わいある色の世界をお楽しみください。

舌 春子
Haruko Zetsu

Profile

1948年 名古屋市生まれ 金城学院短大卒
1974年より姑 舌 久子(毎日文化センター講師)に師事する
1980年よりつくばね会をたちあげる

<主な個展>

2005年 カフェド赤泉ギャラリー(愛知県春日井市)
2012年 ノリタケの森ギャラリー(愛知県名古屋市)
2016年 名古屋市博物館
2018年 ホテルナゴヤキャッスル アートギャラリー
2019年 愛知芸術文化センター(押絵・切り絵 二人展)

<つくばね会作品展>

2005年、2008年、2010年、2014年、2017年 春日井市民サロン

「Gallery at the Castle」は一般の皆様様々な分野のオリジナル作品を月替わりで展示いたします。
お問い合わせ:アートギャラリー事務局

7

July
2020

Gallery
at the
Castle



上村松園
待月



上村松園
春の粧



水芭蕉



葛飾北齋
醉余美人



喜田川歌麿
団扇を持つおひさ



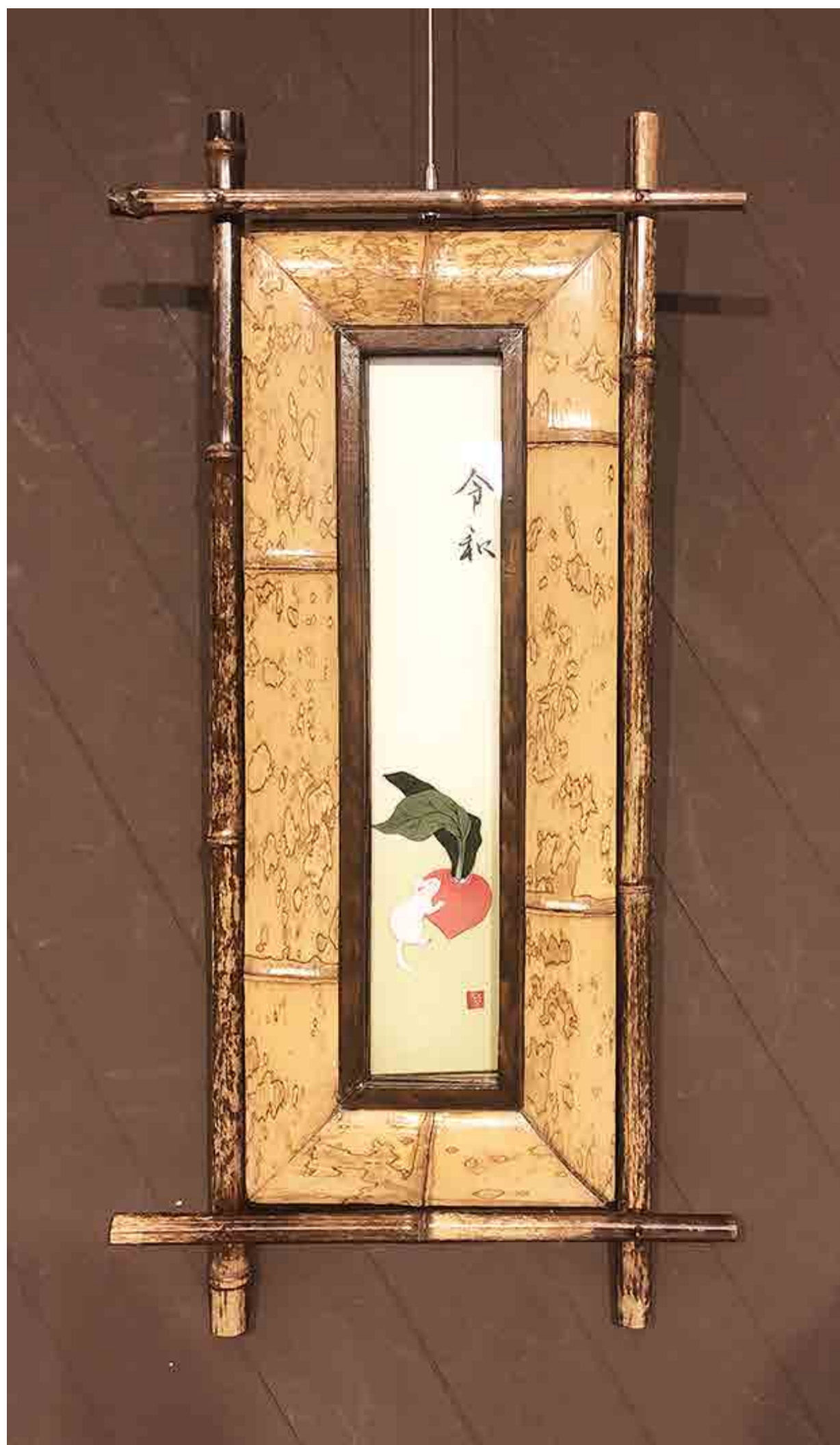
葛飾北斎
見立三番叟の一人



葛飾北斎
美人夏姿



鈴木春信
露の干ぬ間に



ホテルナゴヤキャッスルでは、
「Art Gallery」
に芸術的・文化的作品を展示いただける団体を
プロ・アマ問わず募集しております。
一般の皆様にアートギャラリーをお貸しし、
オリジナルの作品を月替わりで展示いたします。